

第5学年国語科学習指導案

平成30年5月23日(水) 5校時

5年1組 児童数20名

指導者 池谷 康史 印

1 単元名 「物語の山場をとらえよう ～山場カンファレンス～」

教材名 「世界でいちばんやかましい音」(東京書籍5年)

【身に付けさせたい資質・能力及び設定した言語活動とその設定理由】

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像する力
- 自分がお気に入りの物語の山場について交流する
- 物語の構成や山場で起きた変化について考えることができるため

2 単元について

単元観

- 指導事項C 読むこと「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」とB 書くこと「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」
- 本単元は、人物像や物語の全体像を具体的に想像する力を身に付けさせる。
- 本教材は、展開が分かりやすく内容も捉えやすい物語である。一読して、「山場」がどこであるのかが分かりやすく、そこでの中心となる人物の変容をとらえることも容易であると考えられる。
- 言語活動は、「自分のお気に入りの物語の山場について交流会をする」。これは、「自分のお気に入りの物語の山場をとらえ、物語全体を通して最も大きく変わったこととその理由について、自分の考えをまとめ交流する」というものである。

児童観

- 4年生5月「走れ」では、中心人物の気持ちが大きく変化する部分に着目して読み、どのように変化したのか、なぜ変化したのかを考える学習をし、10月「ごんぎつね」では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景、中心人物と他の人物との関わりについて考える学習を経験しているが、言葉や文に着目して、登場人物の相互の関係を捉えることに課題がある児童もいる。
- 昨年度の高知県学力定着状況調査の結果を見ると、「読む」領域の「登場人物の人物像について、複数の叙述を基に捉える」問題で目標値を下回っていて、叙述に着目して読むことに課題が見られる。学習面においても格差が見られ、叙述に即して読み取る力、登場人物の心情を読み取る力を身に付けていく必要があると感じている。

指導観

- 第一次では、教科書P47・49の挿絵と題名を見て物語を読むことに興味を持ち、「山場で起きた変化を捉えること」を付けたい力として学習のねらいをつかむ。そのために、これからどのような学習が必要なのか既習事項を基に学習計画を立てていく。
- 第二次では、物語の構成を知り、山場に着目して、物語全体を通して最も大きく変わったことについて考えていく。そして、最も大きく変わったこととその理由について自分の考えをまとめる。
- 第三次では、既習の物語の中から自分のお気に入りの物語の山場をとらえ、物語全体を通して最も大きく変わったこととその理由について、自分の考えをまとめ交流する。

3 単元の目標

- 物語を読むことに興味を持ち、山場で起きた変化について考えようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ◎場面と場面とのつながりをとらえ、物語の構成を理解し、山場で最も大きく変わったことは何かを考えながら読むことができる。 【C 読むこと エ】
- 物語全体を通して最も大きく変わったこととその理由について、自分の考えを書いている。 【B 書くこと ウ】
- 文章の中の語句と語句との関係を理解することができる。 【言 イ (オ)】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
①物語を読むことに興味を持ち、山場で起きた変化について意欲的に文章を読もうとしている。	①場面と場面のつながりをとらえ、物語の構成を理解し、山場で最も大きく変わったことは何かを考えながら読んでいる。	①目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。	①表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。

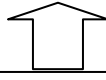
5 指導と評価の計画 (全7時間)

		主な学習活動	評価規準【評価方法】	学び	評価
第一次 1	1	・学習のねらいをつかみ、見通しを持つ。	・物語を読むことに興味を持ち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。【発言・ノート】	主	関①
	2	・物語の基本的な構成を理解し、「山場」を見つける。	・物語を場面に分け、「山場」を意識しながら、物語の構成をとらえている。【発言・ノート】	対	読①
第二次 4	3 (本時)	・山場に向かって進んでいく部分で起きる出来事について読む。	・物語の構成のおもしろさや表現の工夫に気付いている。【発言・ノート】	対	読① 言①
	4	・「山場」での王子様の変化とその理由について考えながら読む。	・物語の叙述を基に、山場で起きた変化とその理由について考えながら読んでいる。【発言・ワークシート】	対 深	読①
	5	・物語の「始まりの場面」と「終わりの場面」を比べて読み、物語の中で他に変わったものはないか考えながら読む。	・物語の叙述を基に、中心人物以外で変化しているものについて考えながら読んでいる。【発言・ノート】	対 深	読①
第三次 2	6・7	・お気に入りの物語の最も大きく変わったこととその理由について自分の考えをまとめ交流する。 ・単元を振り返り、身に付いた力を確かめる。	・お気に入りの物語の最も大きく変わったこととその理由について、自分の考えを書いている。【発言・ワークシート】	対 深	関① 読① 書①

身に付けさせたい資質・能力 《C 読むこと・B 書くこと》【新学習指導要領】

(精査・解釈) エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

(考えの形成) オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。



付けたい力に向けた言語活動

お気に入りの物語の最も大きく変わったこととその理由について自分の考えをまとめ交流する。

児童の実態

○叙述に即して読み取ること、登場人物の心情を読み取ること
に弱さが見られる児童がいる。

本単元で児童に付けたい力

- ◎物語の構成、山場で起きた変化をとらえて文章を読む力 【C (1) エ】
- 目的に応じて、文章をまとめる力 【B (1) ウ】

第一次
1 (導入)

第二次
4 (展開)

第三次
2 (発展)

学習の流れと評価計画(全○時間)

主体的な学び

○学習のねらいをつかみ、見通しを持つ。 1
 ・物語を読むことに興味を持ち、この学習で付けたい力をつかみ、学習計画を立てる。 【関①】

対話的な学び

深い学び

○物語の構成を知り、山場に注目して、物語全体を通して最も大きく変わったことについて考えながら読む。 4
 ・物語の基本的な構成を理解し、「山場」を見つける。 【読①】

本時

・山場に向かって進んでいく部分で起きる出来事について読む。 【読①】【言①】

・「山場」での王子様の変化とその理由について考えながら読む。 【読①】

・物語の「始まりの場面」と「終わりの場面」を比べて読み、物語の中で他に変わったものはないか考えながら読む。 【読①】

対話的な学び

深い学び

○お気に入りの物語の山場をとらえ、交流する。 2
 ・お気に入りの物語の最も大きく変わったこととその理由について自分の考えをまとめる。
 ・単元を振り返り、身に付いた力を確かめる。 【関①】【読①】【書①】

本時の目標

「山場」に向かうまでにどんな出来事がどのように展開していったのかを読み取ることができる。
表現の工夫に気付くことができる。

本時の評価規準

☆物語の構成のおもしろさ
や表現の工夫に気付いて
いる。

支援

※登場人物の挿絵を提示し、登場
人物の考え方について考える手
がかりにさせる。

軸となる言語活動

○2つの出来事を比べ、共通点と相違
点について話し合う。

思考・判断

- ・「山場に向かって進んでいく部分」で王子様の誕生日にしようとしたことの展開を比べ、共通点や相違点について考える。
- ・世界中に広まった内容や登場人物の考え方について考える。

表現

- ・叙述を基に、考えたことを伝え合う。

対話的な学びを実現するための手立て

☞王子様の誕生日にしようとしたこと、それまでの話の流れを比べ、同じところやちがうところはないだろうか。

第一次 1時間目 (3/7)

(1) 目標 「山場」に向かうまでにどんな出来事がどのように展開していったのかを読み取ることができる。
表現の工夫に気付くことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 前時を振り返り、物語の基本的な構成について学習したことを想起する。 2. 本時のめあてをつかむ。	○本単元で身に付けさせたい力を確認させる。
	山場がもり上がるのは、なぜだろう？山場に向かって進んでいく部分に注目して考えよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 「山場に向かって進んでいく部分」で王子様の誕生日にしようとしたことをおさえる。 【ペア】 → 【全体】 ・みんないっしょに「ワアー。」ってさけぶ。 ・口だけは開けて、声は出さない 4. 「山場に向かって進んでいく部分」で王子様の誕生日にしようとしたことの展開を比べ、共通点や相違点について考える。 【個人】 → 【グループ】 → 【全体】 (共通点) ・世界でいちばんやかましい音が聞きたい。 ・世界中の人々に伝わった。 ・王子様の誕生日を祝う気持ち ・自分中心の考え方 (相違点) ・世界中の人々に伝わった内容 ・広める⇔広めるつもりはなかった ・「別に悪気はなかったのですが、・・・」	○本時は「山場に向かっていく部分」(P50L14～P56L13)に注目することを確認させる。 ○時、場所、登場人物を確認させる。 ○家庭学習で書いてきた内容を確認させる。 ^発 王子様の誕生日にしようとしたこと、それまでの話の流れを比べ、同じところやちがうところはないだろうか。 ○世界中の人々に伝わった内容が正反対であること、王子様も世界中の人々もやかましい音が聞きたいこと、王様や町の人々、世界中の人々が自己中心的な考え方であることをおさえる。 ※「山場に向かって進んでいく部分」に出てくる登場人物の挿絵を提示し、登場人物の考え方について考える手がかりにさせる。 ○反復表現についておさえる。 ※繰り返されている表現に着目させる。
ま と め 振 り 返 る	5. 学習の振り返りをする。 【個人】 → 【全体】 家庭学習 「始まりの場面」と「山場」の王子様を比べ、王子様がどのように変わったのか分かる文章を見つけ、線を引いてくる。	☆物語の構成のおもしろさや表現の工夫に気付いている。 【読①】【言①】 (発言・ノート) ○物語の構成のおもしろさや表現の工夫について、友達の考えから学んだことや大切にしたいと思ったことを振り返りに書かせる。

9 資料

・教材文全体 (模造紙大) ・登場人物の挿絵